



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 川西倉庫株式会社

コード番号 9322 URL <http://www.kawanishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若松 康裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部長 (氏名) 福井 博

TEL 078-671-7931

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	16,860	△1.1	287	△14.2	309	△11.8	△252	—
26年3月期第3四半期	17,050	△1.2	334	△11.4	350	△5.1	194	△17.2

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 △195百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 288百万円 (27.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△33.24	—
26年3月期第3四半期	25.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	23,680		15,663		65.2	
26年3月期	24,687		15,935		63.7	

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 15,440百万円 26年3月期 15,732百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,780	1.2	410	7.8	400	1.7	△245	—	△32.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	8,258,322 株	26年3月期	8,258,322 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	653,708 株	26年3月期	653,708 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	7,604,614 株	26年3月期3Q	7,604,614 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 02「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀の金融政策等により企業業績が改善するなど緩やかな景気の回復基調が続いております。一方で、円安の進行による物価の上昇や消費税の増税による個人消費の落ち込み、欧州景気の動向や新興国の景気減速等が懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

物流業界におきましても、物流の合理化、高品質化への要求がますます強まり、これらの顧客ニーズに迅速に対応していくことが求められており、大変厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、首都圏物流の構築、輸配送業務の強化およびNVOCC(国際複合一貫輸送)業務の強化等に積極的に取り組んでまいりました。当四半期においては、海外子会社及び一部子会社の業績は堅調に推移いたしました。倉庫業務での取扱量の減少、神戸港での港湾運送取扱業務の減少等により営業収益は前年同期を下回り、営業利益及び経常利益も前年同期を下回りました。四半期純利益は、特別損失に減損損失606百万円、営業所閉鎖損失58百万円等を計上いたしましたので、四半期純損失となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比1.1%減少の16,860百万円、営業利益は前年同期比14.2%減少の287百万円、経常利益は前年同期比11.8%減少の309百万円、四半期純損失は252百万円(前年同期は四半期純利益194百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①国内物流事業

国内物流事業においては、倉庫業務では冷蔵倉庫業務での貨物の入出庫量、保管高は前年同期を上回りましたが、普通倉庫業務では、入出庫量、保管高、保管残高とも前年同期を下回り、神戸港での沿岸荷役作業、港湾運送取扱業務等も減少し、営業収益及びセグメント利益は前年同期を下回りました。

その結果、営業収益は前年同期比1.2%減少の14,112百万円、セグメント利益は前年同期比8.0%減少の707百万円となりました。

②国際物流事業

国際物流事業においては、海外子会社の業績は堅調に推移しましたが、輸出入貨物の取扱いが減少したことにより営業収益は前年同期を下回りました。セグメント利益は海外事務所等にかかる経費が前年同期に比べ減少したことにより前年同期を上回りました。

その結果、営業収益は前年同期比1.8%減少の2,632百万円、セグメント利益は前年同期比18.3%増加の41百万円となりました。

なお、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等のその他事業は、営業収益は前年同期比14.1%増加の137百万円、セグメント利益は前年同期比70.7%増加の38百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、減損損失による有形固定資産の減少、「長期貸付金」の回収により投資その他の資産が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,006百万円減少し23,680百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、「長期借入金」、「繰延税金負債」等の減少により、前連結会計年度末に比べ734百万円減少の8,016百万円となり、また、当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ271百万円減少の15,663百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月29日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間を基準とした割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債及び利益剰余金、並びに当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,844,357	3,303,759
受取手形及び営業未収入金	3,120,263	3,596,482
有価証券	700,182	600,137
繰延税金資産	108,284	71,286
その他	559,535	639,047
貸倒引当金	△2,824	△2,181
流動資産合計	8,329,798	8,208,532
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,576,468	6,910,275
機械装置及び運搬具(純額)	470,859	447,763
工具、器具及び備品(純額)	115,653	92,420
土地	2,960,856	2,960,856
リース資産(純額)	—	281,240
建設仮勘定	62,856	210,870
有形固定資産合計	11,186,693	10,903,425
無形固定資産		
港湾等施設利用権	1,897,534	1,897,534
その他	742,834	712,046
無形固定資産合計	2,640,369	2,609,580
投資その他の資産		
投資有価証券	1,034,912	1,045,871
長期貸付金	577,129	10,095
差入保証金	795,367	782,876
繰延税金資産	23,127	21,735
その他	103,353	102,012
貸倒引当金	△3,657	△3,601
投資その他の資産合計	2,530,233	1,958,991
固定資産合計	16,357,296	15,471,997
資産合計	24,687,094	23,680,529

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,830,208	1,879,126
短期借入金	1,200,145	1,171,508
未払法人税等	61,944	10,421
賞与引当金	231,869	80,666
役員賞与引当金	1,950	1,800
その他	494,714	526,592
流動負債合計	3,820,832	3,670,115
固定負債		
長期借入金	3,447,690	3,052,059
繰延税金負債	368,676	158,389
退職給付に係る負債	915,037	935,676
その他	199,327	200,527
固定負債合計	4,930,731	4,346,653
負債合計	8,751,564	8,016,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	1,862,230	1,862,230
利益剰余金	12,109,153	11,780,331
自己株式	△585,825	△585,825
株主資本合計	15,493,559	15,164,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	196,130	202,368
為替換算調整勘定	42,832	62,677
退職給付に係る調整累計額	△182	10,848
その他の包括利益累計額合計	238,779	275,895
少数株主持分	203,191	223,128
純資産合計	15,935,530	15,663,760
負債純資産合計	24,687,094	23,680,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業収益	17,050,120	16,860,457
営業原価	15,413,460	15,275,598
営業総利益	1,636,659	1,584,859
販売費及び一般管理費	1,302,043	1,297,775
営業利益	334,615	287,083
営業外収益		
受取利息	6,843	3,472
受取配当金	21,565	32,409
不動産賃貸料	11,211	11,922
その他	26,939	18,625
営業外収益合計	66,559	66,429
営業外費用		
支払利息	50,551	44,161
営業外費用合計	50,551	44,161
経常利益	350,624	309,351
特別利益		
固定資産売却益	372	2,520
特別利益合計	372	2,520
特別損失		
固定資産売却損	214	327
固定資産除却損	1,070	7,946
投資有価証券評価損	204	1,606
減損損失	30,929	606,765
営業所閉鎖損失	—	58,946
特別損失合計	32,419	675,591
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	318,577	△363,719
法人税、住民税及び事業税	92,941	58,486
法人税等調整額	17,027	△181,468
法人税等合計	109,968	△122,981
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	208,608	△240,738
少数株主利益	13,705	12,037
四半期純利益又は四半期純損失(△)	194,903	△252,776

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	208,608	△240,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,371	6,238
為替換算調整勘定	45,225	28,234
退職給付に係る調整額	—	11,031
その他の包括利益合計	79,596	45,504
四半期包括利益	288,204	△195,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,680	△215,660
少数株主に係る四半期包括利益	24,523	20,426

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	14,283,781	2,681,454	16,965,236	84,884	17,050,120	—	17,050,120
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	35,975	35,975	△35,975	—
計	14,283,781	2,681,454	16,965,236	120,859	17,086,095	△35,975	17,050,120
セグメント利益	768,827	35,089	803,917	22,843	826,760	△492,144	334,615

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△492,144千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△492,385千円及びその他の調整額240千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「国内物流」セグメントにおいて、市場環境の変化に伴い、利用見込みが無くなったことによる処分予定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額及び撤去費用を当第3四半期連結累計期間において、減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、30,929千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	14,112,750	2,632,552	16,745,302	115,154	16,860,457	—	16,860,457
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	22,802	22,802	△22,802	—
計	14,112,750	2,632,552	16,745,302	137,957	16,883,260	△22,802	16,860,457
セグメント利益	707,656	41,521	749,178	38,983	788,161	△501,077	287,083

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△501,077千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△501,467千円及びその他の調整額389千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。